



# デメテル Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.29

Newsletter of Gunma Museum of Natural History 2004.2

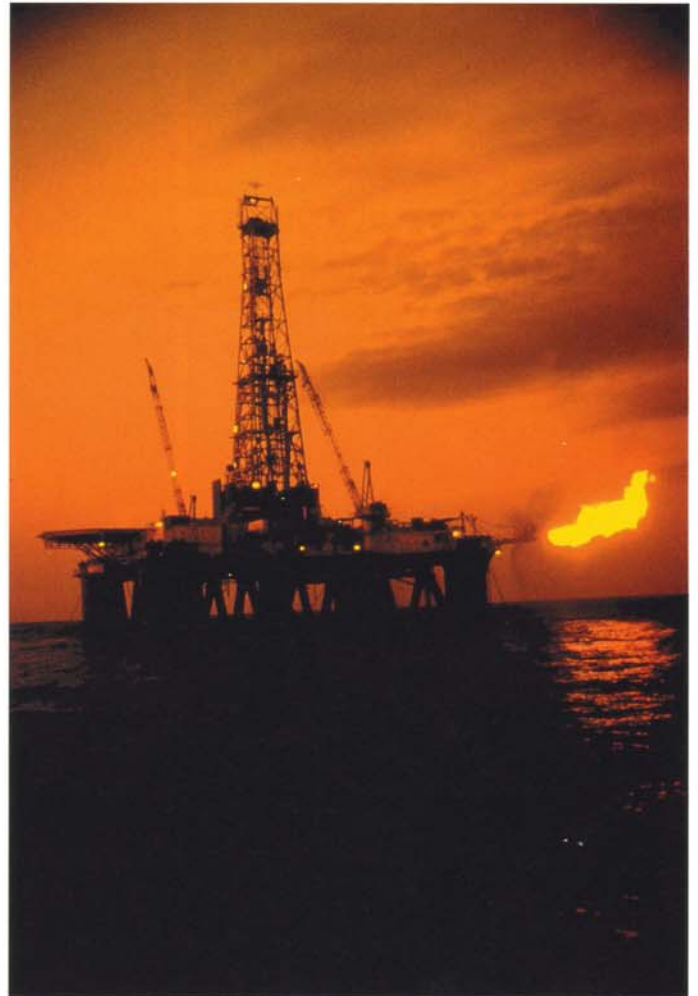
デメテルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。



晶洞中の自然金



ポーキサイト



磐城沖ガス田のプラットフォーム (写真提供: 帝国石油株式会社)

## 第21回企画展 「地球の贈りもの鉱物資源」

開催期間 平成16年3月20日(土)～5月9日(日)

今回の企画展では、鉱物についての基礎的な内容、過去に稼働した群馬の鉱山とその産出鉱物、地下資源として石油・石炭・天然ガスなどを中心にご紹介いたします。この企画展を通して、いかに鉱物資源が身近な存在であり、私たちの日常生活を支えている大切なものであるかを知っていただくとともに、鉱物のもつ多彩な魅力にも触れていただければと思います。さらに、“地球の贈りもの”である資源の大切さについて、改めて考えていただくきっかけとなることを願っております。

(学芸グループ 金澤芳彦)

### 企画展記念講演会 「資源の現状と未来」

日時：平成16年3月28日(日)午後1時30分～

講師：群馬大学教授 吉川 和男氏

場所：群馬県立自然史博物館学習室

定員：一般100名 無料(電話申込み 先着順)



## ■「耳石」ってなに？

「耳石」とは、セキツイ動物のからだの一部です。左右の内耳の中であって、私たちヒトにもあります。ヒトの「耳石」はとても小さく、砂粒みたいな大きさなので「平衡砂」と呼ばれます。セキツイ動物はこの耳石の振動を感じることで、からだのバランスを保ちます。つまり平衡感覚をつかさどる上で重要で、重力と密接な関係があります。そのため、スペースシャトルでもコイなどを使ってこの部分に着目した実験がさかんに行われています。

## ■「耳石」をさがそう！

誰でもご存じの「アジの干物」では比較的簡単に「耳石」を探しだすことができます。アジはからだの大きさに対して比較的大きな耳石を持っているので、肉眼でも確認できるのです。サカナの耳石は左右ともに3種類の耳石が組み合わさったものですが、通常見つかるのはその中で一番大きい「扁平石」という種類だけです。

「耳石」は頭の骨の中でも背骨の付け根のすぐ前にある骨のふくらみの中に入っています。アジの干物では、このふくらみがちょうど割られているため、耳石はこの部分に残っていたり、少し移動したり、



写真1 拡大！ 竹串で指しているのが「耳石」です。

アンラッキーだと無いこともあります(写真1)。しかし、割られていない側にはほぼ間違いなく入

っています。「耳石」は大きさ7～9mm、色は白色～透明で、形はほぼ楕円～紡錘形です(写真2)。また同じ個体の左右の「耳石」の形は対称になっています。

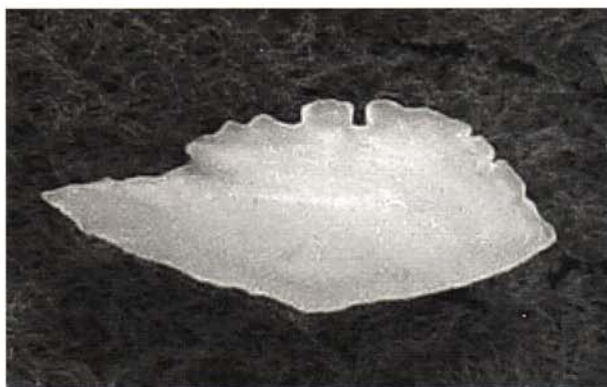


写真2 さらに拡大！ アジの耳石です。

## ■My「耳石」コレクションを作ろう

「耳石」は平衡感覚に関する働きのほか、いろいろなことを教えてくれます。一つはその個体の年齢、もう一つは魚の種類です。「耳石」の形は種類ごとによってそれぞれ形や大きさが違ってきます。ちなみに私は化石を研究していますが、たまに「耳石」の化石が見つかります。見つかった化石の「耳石」には様々な形があります。こうした化石を調べるためには、手元に比較用の標本があると便利なので、私は「耳石」をコレクションにしています。いろいろな所でお頭付きの魚を食べた時には必ず「耳石」を探します。また時には魚屋さんで魚を買って(当然食べて)、「耳石」コレクションを少しずつ増やしています。できるだけ採集した(食べた)日付や場所を書いたメモと一緒にしてあります。こうしておくコレクションは「耳石」図鑑としてだけでなく、日記みたいなものにもなって、後で見たときに集めたときのことを思い出すこともあります。私のコレクションも、いつの日か研究に役立てたいと思っています。

ぜひ、皆さんも「耳石」を探してみてください。  
(学芸グループ 高来祐司)



写真1 安中市中野谷付近から望む最近の浅間山



写真2 流れ下る火砕流 (北海道大学宇井忠英氏提供)



写真3 噴石で壊れた幼稚園 (北海道大学宇井忠英氏提供)

日本全体で108ある活火山のうち、群馬県は5つの活火山が存在する有数の火山県です。この中には、浅間山のように過去大惨事となった噴火が記録されている火山もあります。その反面、温泉や資源などの恵みを与えてくれる存在にもなり、群馬県は国内有数の温泉県となっています。今回の展示では、群

馬県内の活火山を中心に、噴火という現象、火山が噴出する種々の噴出物、火山災害と恵みなどを紹介します。火山を科学的にきちんと理解し、もし噴火が起こった場合どう行動する必要があるのか考える機会をもっといただければと思います。

(総務普及グループ 野村正弘)

## 友の会イベントで 自然史を楽しもう

自然史博物館友の会では、毎年多くのイベントを会員対象に行っています。友の会会員になって、自然との出会い、新しい友達との出会いを楽しんではいかがでしょうか。

### 主なイベント

自然観察会 企画展展示解説会  
化石採集会 県外博物館視察旅行  
連絡先 友の会事務局 (0274-60-1200)

**「友の会」  
会員募集中**

### I 入会による特典

①友の会行事への参加 ②博物館からの情報提供 ③博物館の入館無料  
④ミュージアムショップでの1割引購入 (図書は館発行のものに限る)

II 年会費 (一般3,000円 高大生2,000円 小中生1,000円 家族5,000円)

III 関心のある方は、お早めに手続きを



当館では、年4回移動博物館を開催しています。これは、遠隔地のため博物館に来館する機会の少ない方や身体的な都合により来館できない方に博物館を利用する機会を提供するものです。

会場の広さにもよりますが、移動博物館用展示資料約130点を学校や公民館に展示します。隕石、恐竜の頭骨や足跡、動物のはく製、各種キノコ、様々な鳥、博物館クイズなど、小さいお子さんから大人まで楽しみながら学べる内容です。特に、動物のはく製など触れる展示が毎回大好評です。資料を間近で見ることができるのも、移動博物館ならではの特典です。

今回は、3月5日(金)～7日(日)の日程で、ぐんまこどもの国児童会館を会場に実施します。観覧料は無料ですので、たくさんの方の来館をお待ちしております。  
(総務普及グループ 野口喜充)



## インフォメーション (4月～6月の予定)

第22回企画展「地球の贈りもの鉱物資源」 3月20日(土)～ 5月 9日(日)  
県庁特別展示「火山 災害と恵み」 4月25日(土)～ 5月23日(日)

**4月** 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「れきの丸くなる様子を実験してみよう」

**5月** 9日(日) 自然史講座「活火山と防災」  
毎週土曜日 サイエンス・サタデー「紙づくりにちょうせん」

**6月** 1日(火)～3日(木) 移動博物館(会場:群馬県立太田高等養護学校)  
5日(土) 子どもミュージアムスクール開校式  
8日(火) 天体観望会「金星の日面通過を見よう」  
13日(日) ファミリー自然観察会「植物の視察」  
29日(火)～7月6日(火) 燻蒸休館  
毎週土曜日 サイエンス・サタデー「アンモナイトのレプリカをつくろう」

### 利用案内

- 開館時間 午前9:30～午後5:00(入館は午後4:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)
- 観覧料 一般500円(400円)、高校・大学生300円(240円)  
3月20日～5月9日の企画展開催中は一般600円(480円)、高校・大学生300円(240円)  
※中学生以下・障害者及びその介護者1名は無料、( )内は20名以上の団体料金

### 凡例

- 実験・観察
- 天体観望会
- 観察会
- 講演・講座
- 電話で申し込み
- 往復ハガキで申し込み

### 休館日

○印の日は休館いたします。

4月	日 月 火 水 木 金 土
	・ ・ ・ ・ 1 2 3
	4 ○ 5 6 7 8 9 10
	11 ○ 12 13 14 15 16 17
	18 ○ 19 20 21 22 23 24
25 ○ 26 27 28 29 30 ・	

5月	日 月 火 水 木 金 土
	・ ・ ・ ・ ・ 1
	2 3 4 5 ○ 6 7 8
	9 ○ 10 11 12 13 14 15
	16 ○ 17 18 19 20 21 22
23 ○ 24 25 26 27 28 29	
30 ○ 31 ・ ・ ・ ・ ・	

6月	日 月 火 水 木 金 土
	・ 1 2 3 4 5
	6 ○ 7 8 9 10 11 12
	13 ○ 14 15 16 17 18 19
	20 ○ 21 22 23 24 25 26
27 ○ 28 29 30 ・ ・ ・	

